

2023年6月29日

横浜ゴムの三重工場で FC 伊勢志摩の監督らが 伊勢労働基準監督署主催の安全パトロールを実施

横浜ゴム（株）の三重工場（三重県伊勢市）で6月27日、伊勢労働基準監督署の主催により、東海社会人サッカーリーグ1部に所属する伊勢市の特定非営利法人「FC.ISE-SHIMA（FC 伊勢志摩）」の小倉隆史（おぐら・たかふみ）理事長兼監督および選手3名による安全パトロールが実施されました。当日は三重工場では小倉監督が伊勢労働基準監督署の一日署長、さらに及川陸（おいかわ・りく）選手（DF）、中岡想羅（なかおか・そら）選手（FW）、伊藤友弥（いとう・ゆうや）選手（MF）が労働災害防止の周知啓発を行う「SAFE サポーター」に就任し工場内を見回りました。

伊勢労働基準監督署は管内（伊勢市・鳥羽市・志摩市・度会郡）で多発する転倒・腰痛などの労働者の行動に起因する災害の防止のため、2022年から「FC.ISE-SHIMA」と連携しています。この取り組みの一環として、転倒・腰痛防止体操の作成のほか厚生労働省全国安全週間準備期間に合わせて監督と「SAFE サポーター」に就任した選手による安全パトロールを実施したものです。

小倉一日監督署長からは「タイヤの生産は重さであったり、機械の大きさであったり、多くの危険があることが分かりました。その中でこれまでの経験なども含めた色々な安全対策をされていることを知りました。SAFE サポーターの選手たちも安全な環境の中で安心して作業できたと思います。こういう取り組みを続けてもらいながら健康で、明るく、楽しい職場を維持し続けてもらいたいと思います」と講評をいただきました。

横浜ゴムは今年から「FC.ISE-SHIMA」に横断幕パートナーとして協賛し、同クラブと連携した地域貢献活動に取り組んでいます。

横浜ゴムは2021年度から2023年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニューゼロ・ニューサン）においてESGの取り組みを事業を強化する実質的な事業戦略の一つとして捉えており、取り組みを通じて持続的な企業価値向上に繋げていきます。社会（人とのつながり）では取り組みの一環として従業員が安全で健康的に働くことのできる職場づくりを目指しています。



小倉一日監督署長（右端）に安全活動を説明する
三重工場の従業員



安全パトロール後に講評する小倉一日監督署長

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：山崎
TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552